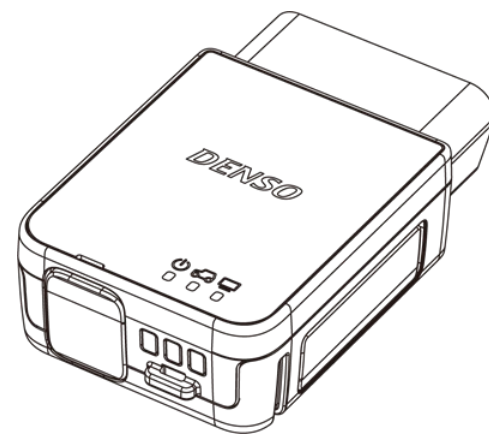


DST-010 ToolBox利用ガイド

- DN-DST-010-A
- DN-DST-010-B
- DN-DST-010



目次

1. はじめに	3	4. ToolBoxの画面説明	8
• DST-010 ToolBoxとは	3	• 概要	8
• DST-010製品概要およびセットアップについて	3	• 各タブの表示条件	8
2. 動作環境	4	• メインウィンドウ（各タブ共通）	9
• 動作環境	4	参考：ステータス表示について	10
• 通信方式	4	• 4-1.Homeタブ	11
3. ToolBoxの起動と終了	5	• 4-2.通信設定タブ（設定確認）	13
• ToolBoxの起動	5	• 4-3.通信設定タブ（設定変更）	14
• ToolBoxの終了	6	• 4-4.インフラストラクチャモード設定画面	15
参考：ToolBoxをタスクトレイに格納	7	• 4-5.ピアツーピア設定画面	18
		• 4-6.ブザー通知タブ	19
		• 4-7.色設定タブ	22
		• 4-8.バージョンタブ	23
		• 4-9.Updateタブ	24
		• 4-10.管理者用タブ	25

1.はじめに

DST-010をご使用いただくには、パソコンへDST-010 ソフトウェア（DST-010 ToolBox、ドライバー）をインストールしていただく必要があります。

ご使用の前に、本書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、本書に記載の画面や仕様は予告なく変更させていただく場合があります。

DST-010 ToolBox（以下、ToolBox）とは

DST-010のセットアップや設定変更を行うためのアプリケーションです。

ToolBoxを介して、DST-010を接続した車両とパソコンとの通信を行うことができます。

診断ソフトを使用するには、事前にToolBoxのインストールを行ってください。

※ToolBoxだけでは車両診断を行うことはできません。

DST-010製品概要およびセットアップについて

- DST-010本体の製品概要、取り扱い上の注意、保証、免責等については「DN-DST-010 ハードウェアマニュアル」を参照してください。
- ToolBoxのインストール、DST-010のファームウェア書き込み手順、各種セットアップ方法は「DN-DST-010 セットアップマニュアル」を参照してください。

2.動作環境

動作環境

- ・ OS : Microsoft Windows 10/11 ※ARMベースプロセッサを除く
- ・ 詳細な動作環境はご使用される各診断ソフトをご参照ください。

PCとの通信方法

PC（ToolBox）は、以下の通信方式を用いてDST-010と通信します。

通信方法	使用方法
USB	USBケーブルにてパソコンとDST-010を接続する
Wi-Fi	【インフラストラクチャ接続設定の場合】 DST-010が接続したアクセスポイント経由でパソコンへ接続する 【ピアツーピア接続設定の場合】 パソコンをDST-010のアクセスポイントとして認識して接続する
Bluetooth	事前にペアリング済みのDST-010についてBluetoothにより直接接続する

3.ToolBoxの起動と終了

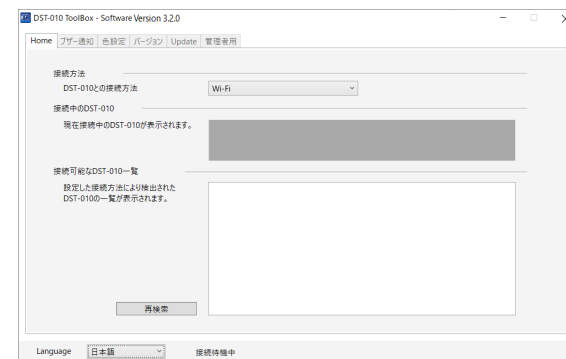
ToolBoxの起動

- 1 スタートメニュー → 「DENSO DST-010」から「DST-010 ToolBox」を起動します。



【補足】 Ver.3.2.0以降はデスクトップ上にショートカットが作成され、こちらからも起動が可能です。
また、スタートアップ機能がオンとなった状態でインストールされるためパソコンの立ち上げと同時にToolBoxがバックグラウンド動作します。
※DST-010を接続した状態で、PCを立ち上げた際はToolBoxが起動します。

- 2 ToolBoxのHome画面 (Homeタブを開いた状態) が表示されます。



【補足】

ToolBoxを起動すると、パソコン画面右下のタスクトレイにアイコンが表示されます。



DST-010 接続中

または



DST-010 未接続

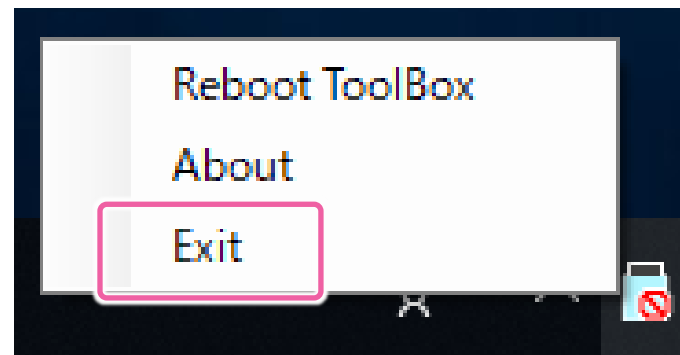
3.ToolBoxの起動と終了

ToolBoxの終了

- 1 パソコン画面右下のタスクトレイアイコンを右クリックします。



- 2 メニューの“Exit”をクリックするとToolBoxを終了します。



【補足】

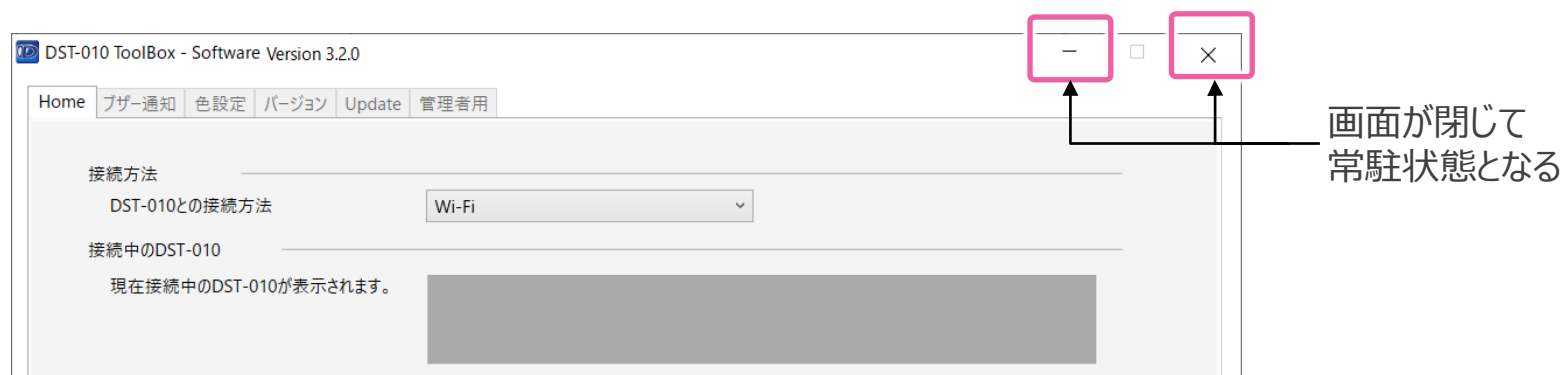
その他のメニュー項目は以下となります。

- Reboot ToolBox → ToolBoxを再起動します。
- About → DST-010 ソフトウェアの情報を表示します。

3.ToolBoxの起動と終了

参考：ToolBoxをタスクトレイに格納

ToolBoxの画面右上の「-」か「×」ボタンを押すと画面が閉じてバックグラウンドで常駐した状態になります。タスクトレイから終了するまで、常駐した状態を保持します。



【補足】

ToolBoxの画面が閉じて常駐しているとき、パソコン画面右下のタスクトレイにはアイコンが表示されています。



DST-010 接続中



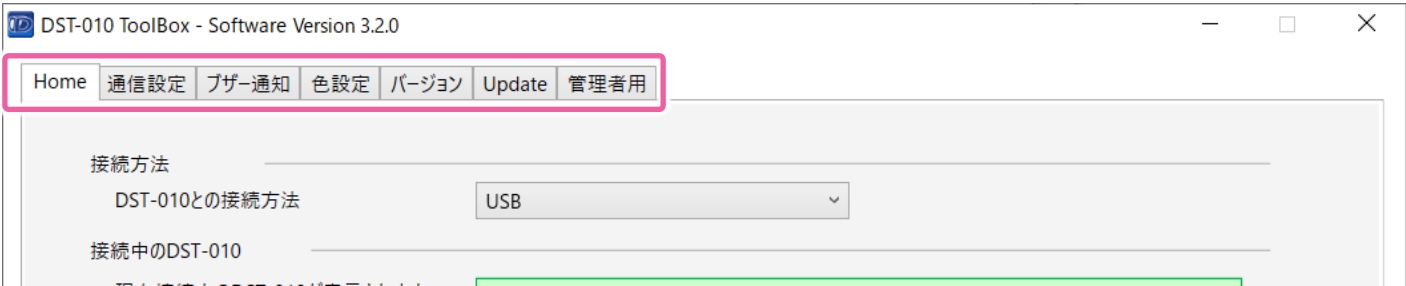
または

DST-010 未接続

4.ToolBoxの画面説明

概要

タブをクリックして画面を切り替えて、DST-010の設定を変更することができます。

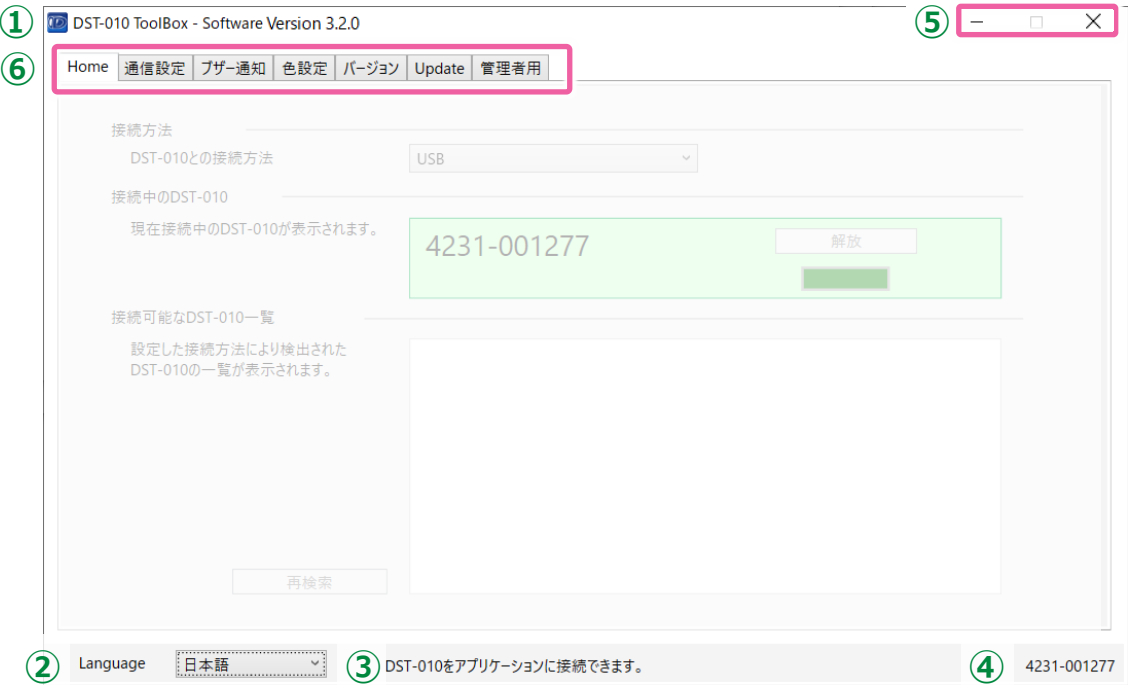


各タブの表示条件

タブ名称	表示条件
Home	常に表示されます。
通信設定	無線通信を搭載したDST-010接続時のみ表示されます。
ブザー通知	常に表示されますが、DST-010未接続時はグレースアウトされます。
色設定	常に表示されますが、DST-010未接続時はグレースアウトされます。
バージョン	常に表示されますが、DST-010未接続時はグレースアウトされます。
Update	常に表示されますが、DST-010未接続時および無線通信中はグレースアウトされます。
管理者用	常に表示されますが、DST-010未接続時および無線通信中はグレースアウトされます。

4.ToolBoxの画面説明

メインウィンドウ (各タブ共通)

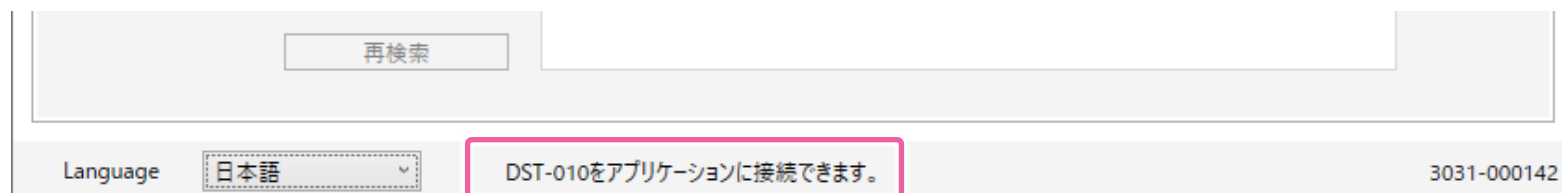


No.	名称	説明
①	タイトルバー	アプリケーションの名称とDST-010 ソフトウェアのバージョンを表示します。
②	Language	表示する言語（日本語または英語）を切り替えます。
③	ステータス表示	DST-010の状態を表示します。 ※詳細は次ページ参照
④	接続先シリアルNo	接続しているDST-010のシリアルNoを表示します。
⑤	「－」「×」ボタン	画面を閉じて、タスクトレイに格納します。（常駐している状態になります）
⑥	各タブ	タブをクリックすることで、ToolBoxの画面を切り替えます。

4.ToolBoxの画面説明

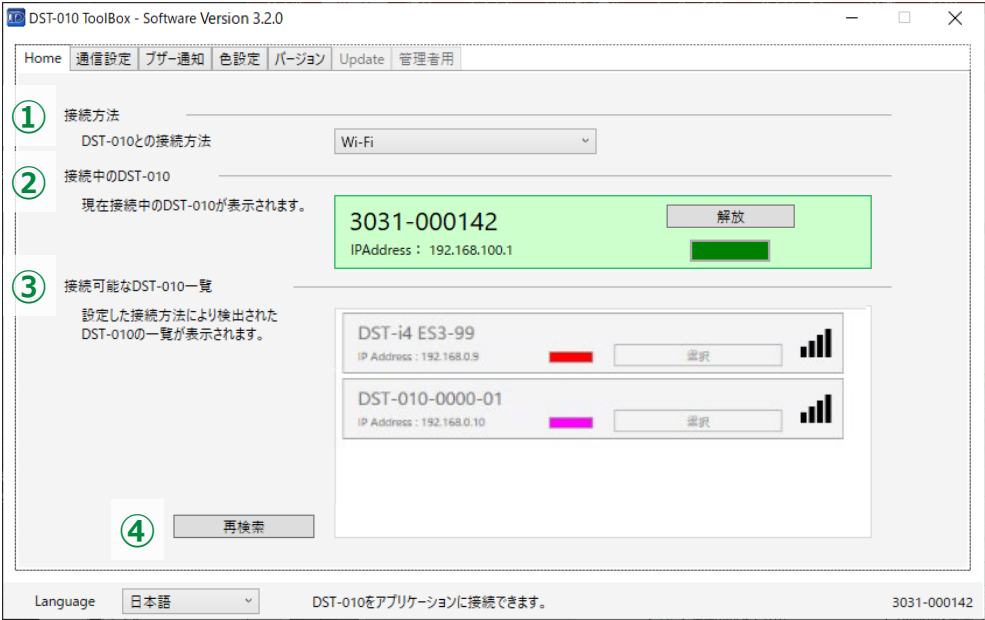
参考：ステータス表示について

メインウィンドウ下部のステータス表示文言は、ToolBoxとDST-010の状態によって変化します。



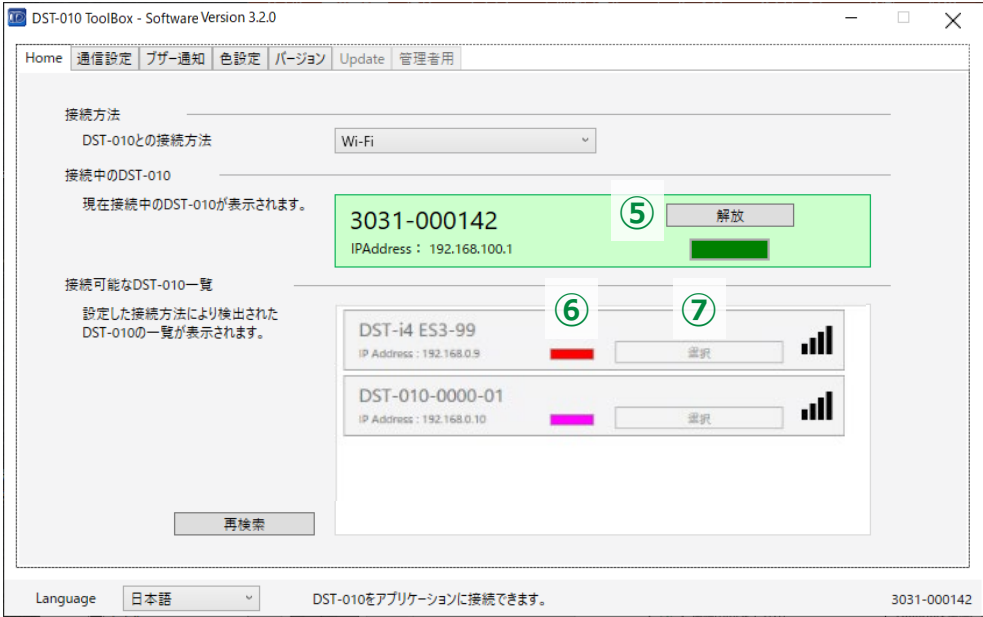
表示文言	状態
ToolBoxを開始しています。	ToolBoxを起動中（初期化処理中）
接続待機中。	DST-010が接続されていない
DST-010をアプリケーションに接続できます。	DST-010との接続が完了して、診断ソフトと通信できるようになった
DST-010に接続しています...	DST-010に接続しようとしている
DST-010を他のアプリケーションで使用する場合、Homeタブに移動してください。	DST-010とToolBoxが通信している
デバイスを検出しています...	接続可能なDST-010を検出中
処理中... 完了までお待ち下さい。	ファームウェアのアップデートなど、ToolBoxの操作を禁止している
アプリケーションを検出しました。 ToolBoxを使用できません。	他のアプリケーションを実行中など、ToolBoxの操作を禁止している
ToolBoxを終了しています。	「Exit」ボタンを押して、ToolBoxの終了処理中

4-1.Homeタブ



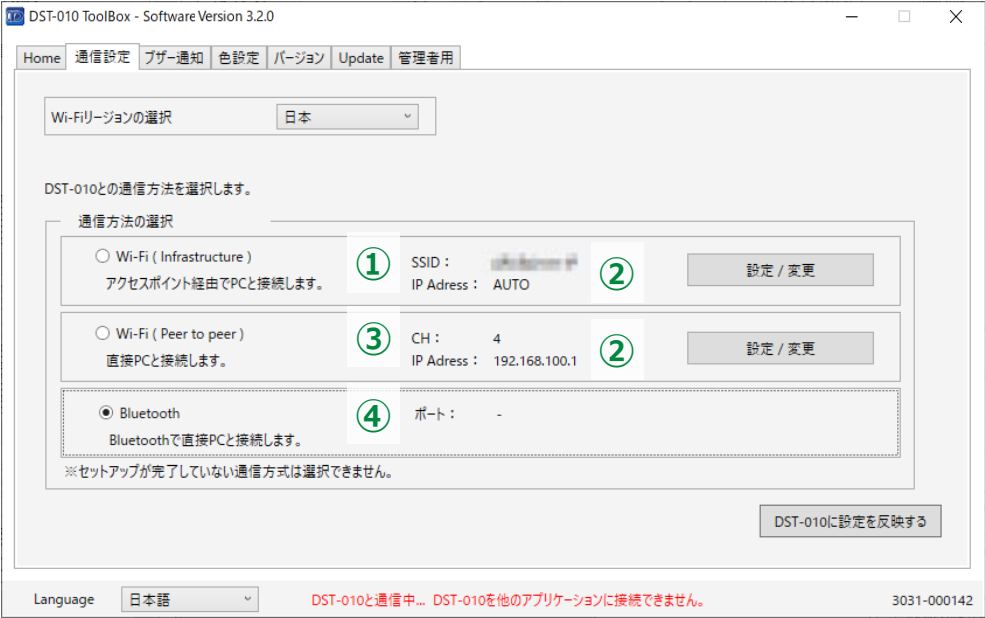
No.	名称	説明
①	接続方法	プルダウンメニューからDST-010と接続する際の通信方式を選択します。
②	接続中のDST-010	ToolBoxと接続しているDST-010の情報を表示します。
③	接続可能なDST-010一覧 または ペアリング済のDST-010一覧	USB通信で接続中： 一覧には何も表示されません。 ①でWi-Fi接続を選択時： 接続可能なDST-010を表示します。 ①でBluetooth接続を選択時： ペアリング可能なDST-010を表示します。
④	「再検索」ボタン	検出されたDST-010を一覧に表示します。 接続するDST-010の切り替えや、他のデバイスを検索する場合は「再検索」ボタンを押します。

4-1.Homeタブ



No.	名称	説明
⑤	「解放」ボタン または 「接続キャンセル」ボタン	「解放」：DST-010と無線接続されているときに表示されます。ボタンを押すと接続を解除します。 「接続キャンセル」：無線接続処理中、もしくは接続対象のDST-010が無応答時に表示されます。 ボタンを押すと、接続処理を中断して一覧に移動します。
⑥	DST-010の識別色	DST-010を区別するための色を表示します。 色は全9色から選択することができます。 ※設定方法は21ページ参照
⑦	「選択」ボタン	一覧から選択したDST-010と接続します。 選択したDST-010の情報が一覧から「接続中のDST-010」へ移動します。

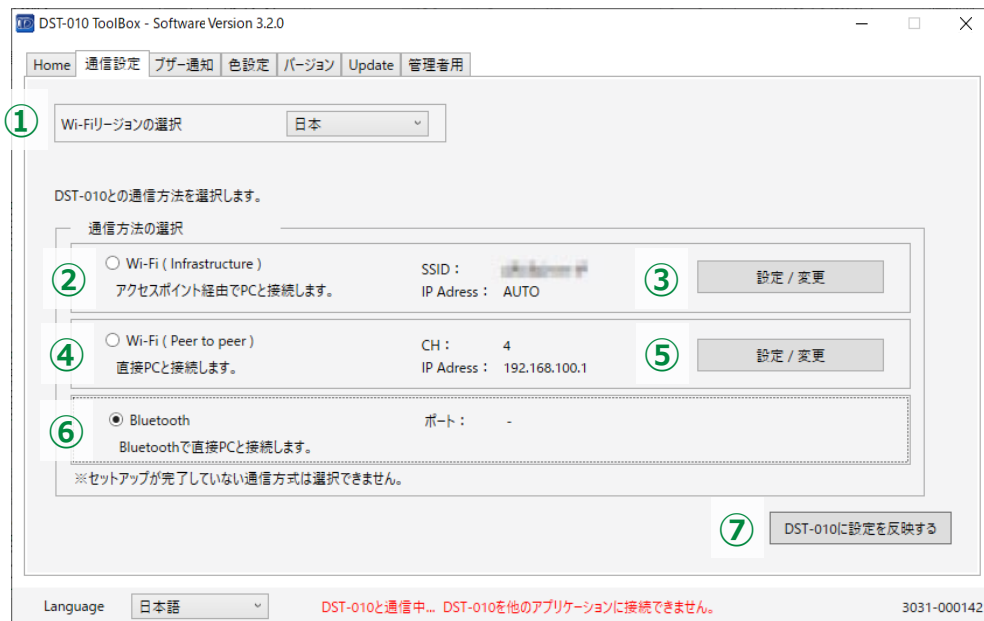
4-2.通信設定タブ（設定確認）



No.	名称	説明
①	SSID	選択しているアクセスポイントのSSIDを表示します。
②	IP Address	DST-010のIPアドレスの設定方法を表示します。 「AUTO」の場合はDHCPまたはAutoIPで決定します。 固定IPの場合はIPアドレス自体が表示されます。
③	CH	DST-010の接続を受け付けるチャンネル番号を表示します。
④	ポート	Bluetoothペアリング済みのCOMポート番号を表示します。

※未設定の場合は「-」を表示します。

4-3.通信設定タブ（設定変更）



No.	名称	説明
①	Wi-Fiリージョンの選択	プルダウンメニューからDST-010を使用する国を選択します。
②	Wi-Fi (Infrastructure)	ラジオボタンで選択すると、DST-010とのワイヤレスでの接続方法をWi-Fi(インフラストラクチャ)に設定します。 SSID、パスワード、IP Addressの設定が完了している場合に選択できます。
③	「設定/変更」ボタン	インフラストラクチャモードの設定画面を開きます。 ※詳細は16ページ参照
④	Wi-Fi (Peer to peer)	ラジオボタンで選択すると、DST-010とのワイヤレスでの接続方法をWi-Fi(ピアツーピア)に設定します。 チャンネル番号、パスワードの設定が完了している場合に選択できます。
⑤	「設定/変更」ボタン	ピアツーピアモードの設定画面を開きます。 ※詳細は19ページ参照
⑥	Bluetooth	ラジオボタンで選択すると、DST-010とのワイヤレスでの接続方法をBluetoothに設定します。
⑦	「DST-010に設定を反映する」ボタン	ワイヤレス接続に関する設定をDST-010に反映します。

4-4.インフラストラクチャモード設定画面

インフラストラクチャの「設定/変更」ボタンをクリックするとアクセスポイント選択画面が開いて、接続先を変更することができます。

【補足】

DST-010が受信したネットワークをアクセスポイントとして表示します。

※パソコンの表示と異なる場合があります。



No.	名称	説明
①	電波強度	アクセスポイントの電波強度を表示します。
②	SSID	アクセスポイントのSSIDを表示します。
③	周波数帯	アクセスポイントの周波数帯を表示します。
④	チャンネル番号	アクセスポイントのチャンネル番号を表示します。
⑤	その他のネットワーク	クリックすると、ネットワーク設定画面を開きます。
⑥	「再検索」ボタン	周辺のアクセスポイントを検出して、画面表示を更新します。

4-4.インフラストラクチャモード設定画面

アクセスポイントを選択すると、パスワード入力画面が表示されます。

DST-010 ToolBox インフラストラクチャパスワード

① SSID :

② パスワード :

③ ☐ パスワードを表示

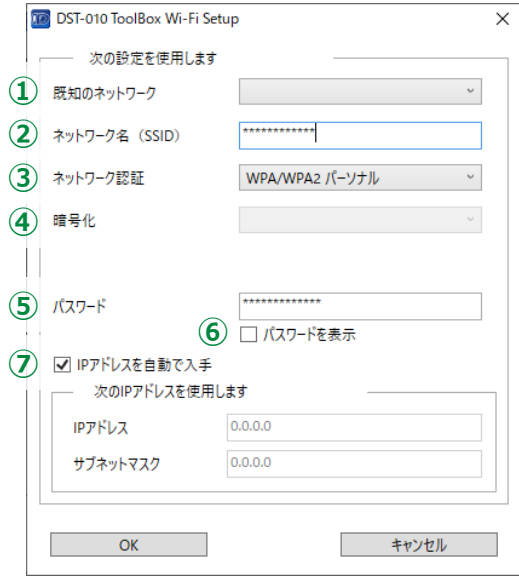
OK

キャンセル

No.	名称	説明
①	SSID	選択したアクセスポイントのSSIDが表示されます。
②	パスワード	アクセスポイントのパスワードを入力します。 入力しても「OK」ボタンがグレースアウトされている場合は、パスワードの入力に誤りがあります。 ※詳細は「DN-DST-010 セットアップマニュアル」を参照してください。
③	パスワードを表示	パスワードを入力する前にチェックを入れると、入力内容を確認しながらパスワードを入力できます。 パスワードが入力された状態（上図）でチェックを入れると、入力内容がクリアされます。 ※入力内容を誤ってクリアしたなど、パスワードの変更が必要ない場合は「キャンセル」をクリックしてください。

4-4.インフラストラクチャモード設定画面

“その他のネットワーク”を選択すると、ネットワーク設定画面が表示されます。



No.	名称	説明
①	既知のネットワーク	接続履歴のあるSSIDをプルダウンメニューに表示します。
②	ネットワーク名（SSID）	SSIDを直接入力します。
③	ネットワーク認証	ネットワーク認証の方法を表示します。
④	暗号化	使用しません。
⑤	パスワード	アクセスポイントのパスワードを入力します。 入力しても「OK」ボタンがグレーアウトされている場合は、パスワードの入力に誤りがあります。 ※詳細は「DN-DST-010 セットアップマニュアル」を参照してください。
⑥	パスワードを表示	パスワードを入力する前にチェックを入れると、入力内容を確認しながらパスワードを入力できます。 パスワードが入力された状態（上図）でチェックを入れると、入力内容がクリアされます。 ※入力内容を誤ってクリアしたなど、パスワードの変更が必要ない場合は「キャンセル」をクリックしてください。
⑦	IPアドレスを自動で入手	チェックボックスにレ点を入れると、アクセスポイントのDHCPサーバー機能を使用してIPアドレスを自動取得します。 DST-010のIPアドレスとサブネットマスクを任意の値で設定する場合は、チェックボックスのレ点を外して、使用するIPアドレスとサブネットマスクを入力します。

4-5.ピアツーピア設定画面

ピアツーピアの「設定/変更」ボタンをクリックします。
ピアツーピア設定画面が開いて、
設定を変更することができます。

DST-010 Toolbox Wi-Fi Setup

Peer to peer設定

① DST-010 SSID DST-010_3031-000142

② 接続チャンネル 1 (2.4G)

③ 接続パスワード *****

④ ☐ パスワードを表示

⑤ ☒ 詳細設定

⑥ ☒ DST-010のDHCPサーバー機能を使用

⑦ ☐ DST-010のIPアドレスを手動で設定

IPアドレス 192 . 168 . 100 . 1

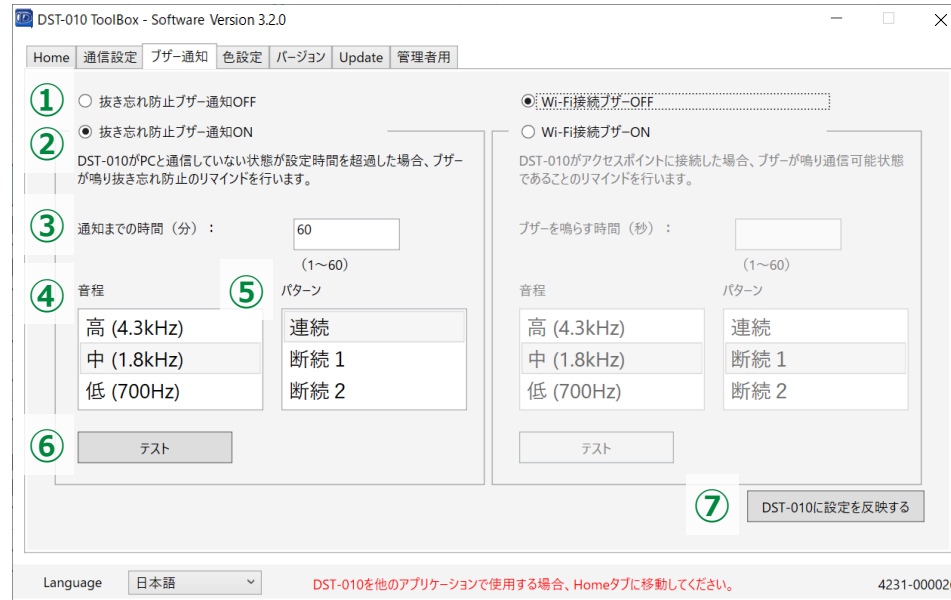
サブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

OK キャンセル

No.	名称	説明
①	DST-010 SSID	接続しているDST-010のSSIDを表示します。
②	接続チャンネル	プルダウンメニューからチャンネル番号を選択します。
③	接続パスワード	任意のパスワードを入力します。 ※詳細は「DN-DST-010 セットアップマニュアル」を参照してください。
④	パスワードを表示	入力したパスワードを表示します。
⑤	詳細設定	チェックボックスにレ点を入れると、⑥と⑦の設定を行うことができます。
⑥	DST-010のDHCPサーバー機能を使用	チェックボックスにレ点を入れると、DST-010のDHCPサーバー機能を使用して接続するパソコンにIPアドレスを自動で割り当てます。
⑦	DST-010のIPアドレスを手動で設定	チェックボックスにレ点を入れると、DST-010のIPアドレスとサブネットマスクを設定することができます。 デフォルト値として、192.168.100.1/255.255.255.0が設定されています。

4-6.ブザー通知タブ（抜き忘れ防止ブザー機能）

<v2.1.0をご使用の方>



No.	名称	説明
①	抜き忘れ防止ブザー通知OFF	ラジオボタンで選択すると、ブザー通知機能を無効にします。
②	抜き忘れ防止ブザー通知ON	ラジオボタンで選択すると、ブザー通知機能を有効にします。（ブザーが鳴る状態になります）
③	通知までの時間(分)	ブザーで通知するまでの時間を設定します。
④	音程	ブザーの音域（Hz）を選択します。
⑤	パターン	ブザーのパターンを選択します。
⑥	「テスト」ボタン	設定した音域とパターンでブザーを鳴らします。 ⑤で「連続」を選択：約3秒 ⑤で「断続1」または「断続2」を選択：3サイクル
⑦	「DST-010に設定を反映する」ボタン	ブザー通知機能に関する設定をDST-010に反映します。

4-6.ブザー通知タブ（Wi-Fi接続通知ブザー機能） <v2.1.0をご使用の方>

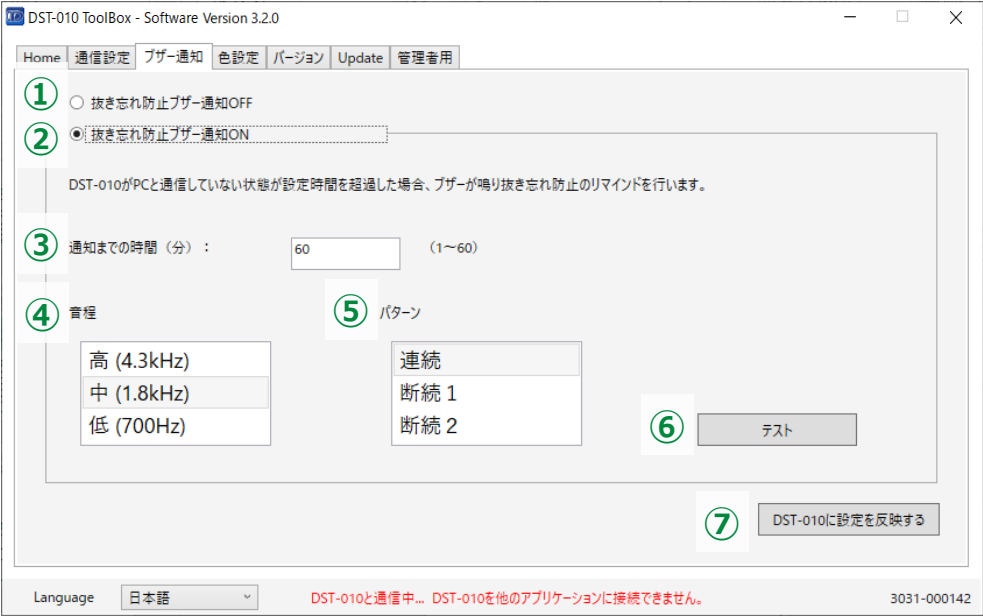


No.	名称	説明
①	Wi-Fi接続ブザー通知OFF	ラジオボタンで選択すると、ブザー通知機能を無効にします。
②	Wi-Fi接続ブザー通知ON	ラジオボタンで選択すると、ブザー通知機能を有効にします。（ブザーが鳴る状態になります）
③	ブザーを鳴らす時間(秒)	DST-010がアクセスポイントに接続してからブザーで通知する時間を設定します。
④	音程	ブザーの音域（Hz）を選択します。
⑤	パターン	ブザーのパターンを選択します。
⑥	「テスト」ボタン	設定した音域とパターンでブザーを鳴らします。 ⑤で「連続」を選択：約3秒 ⑤で「断続1」または「断続2」を選択：3サイクル
⑦	「DST-010に設定を反映する」ボタン	ブザー通知機能に関する設定をDST-010に反映します。

4-6.ブザー通知タブ

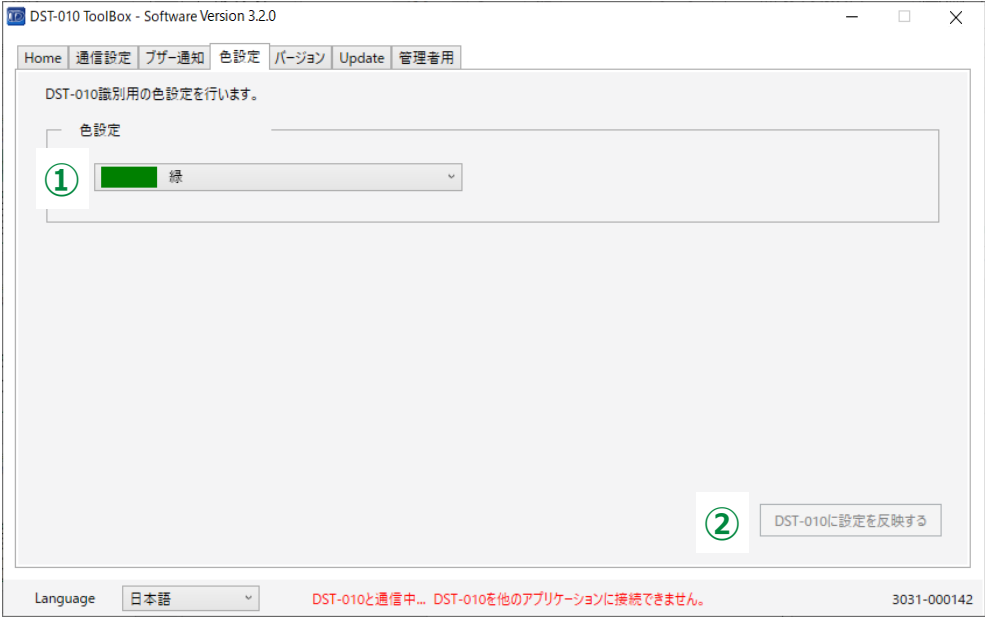
< v2.0.2をご使用の方>

5
ToolBoxの画面説明



No.	名称	説明
①	抜き忘れ防止ブザー通知OFF	ラジオボタンで選択すると、ブザー通知機能を無効にします。
②	抜き忘れ防止ブザー通知ON	ラジオボタンで選択すると、ブザー通知機能を有効にします。（ブザーが鳴る状態になります）
③	通知までの時間(分)	ブザーで通知するまでの時間を設定します。
④	音程	ブザーの音域（Hz）を選択します。
⑤	パターン	ブザーのパターンを選択します。
⑥	「テスト」ボタン	設定した音域とパターンでブザーを鳴らします。 ⑤で「連続」を選択：約3秒 ⑤で「断続1」または「断続2」を選択：3サイクル
⑦	「DST-010に設定を反映する」ボタン	ブザー通知機能に関する設定をDST-010に反映します。

4-7.色設定タブ



No.	名称	説明
①	色設定コンボボックス	プルダウンメニューから色（全9色）を選択します。
②	「DST-010に設定を反映する」ボタン	選択した色をDST-010の識別色として設定します。 Homeタブの画面で表示されるDST-010の識別色が変わります。※イメージは12ページ参照

【補足】

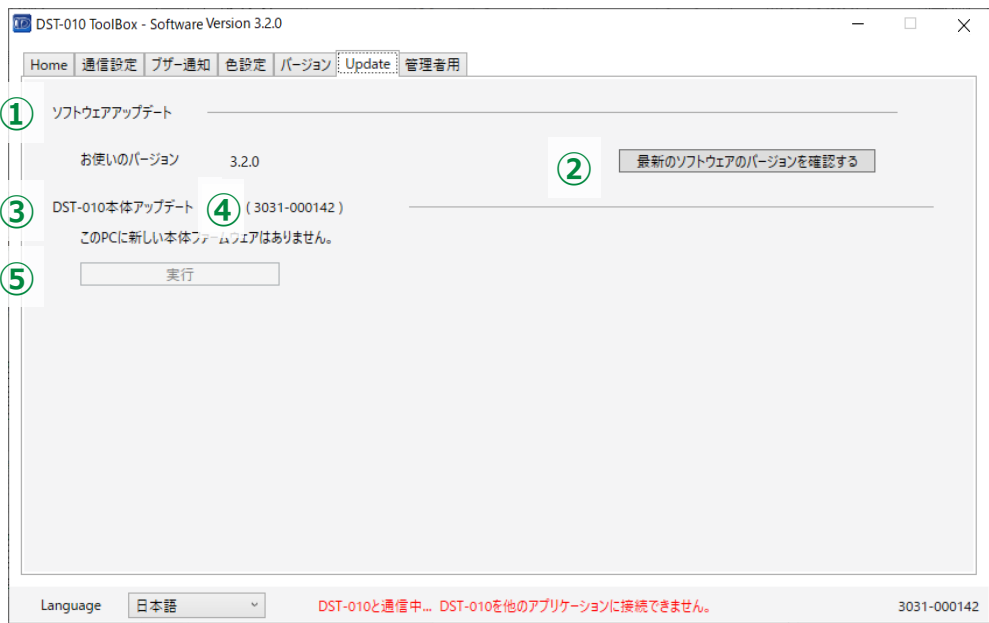
オプション品のフロントパネルラベルをDST-010本体に貼り付けることで、本体の色とToolBox上の識別色を合わせることができます。

4-8.バージョンタブ



No.	名称	説明
①	DST-010本体の情報	接続しているDST-010から読み出した情報を表示します。 ※Wi-Fi未搭載製品の場合は“Wi-Fi ファームウェア : ” “Wi-Fi MAC : ”に「-」を表示します。
②	ソフトウェアの情報	Software : 「DST-010 ソフトウェア」のバージョンを表示します。 ToolBox : 「ToolBox」のバージョンを表示します。 Driver : 「DST-010用ドライバー」のバージョンを表示します。

4-9.Updateタブ



No.	名称	説明
①	ソフトウェアアップデート情報	パソコンにインストールされている「DST-010 ソフトウェア」のバージョンを表示します。
②	「最新のソフトウェアのバージョンを確認する」ボタン	最新のソフトウェアバージョンを確認するため、DST-010製品ホームページに接続します。
③	DST-010本体アップデート	パソコンにインストールされているファームウェアバージョンとDST-010本体から読み出したファームウェアバージョンを比較して、更新が必要かどうかを表示します。 「このPCに新しい本体ファームウェアはありません。」：パソコンとDST-010にインストールされているファームウェアは同じバージョンです。 「新しい本体ファームウェアがあります。更新してください。」：更新が必要です。 ※更新が必要な場合はDST-010接続後、自動でUpdateタブへ移動します。
④	(シリアルNo)	接続しているDST-010のシリアルNoを表示します。
⑤	「実行」ボタン	DST-010のファームウェアを更新します。更新できるファームウェアが無いときは、グレースアウトされます。

4-10.管理者用タブ



No.	名称	説明
①	詳細ログを出力する	エラー解析に必要な詳細ログのデータを出力します。 ※必要時のみチェックボックスにレ点を入れてください。
②	「エラーレポートを作成」ボタン	エラー解析に必要なレポートを作成します。
③	「DST-010を工場出荷状態にする」ボタン	接続中のDST-010を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。

【注意】

このタブは不具合発生時などの調査で使用するため、依頼がある場合以外は触らないでください。
ログデータの出力によって、パソコンの記憶領域を圧迫する可能性があります。